

令和8年5月号の「いっしん」は記念祭が仕えられ、発行することができませんでしたので、代わりに記念祭のパンフレットをご覧ください。

令和八年五月十七日(日)

天地金乃神御大祭に併せて

布教七十五年記念大祭

をお迎えして



昭和35年頃の加治木教会
(松田モト氏の借家)

金光教加治木教会

ごあいさつ

ご参拝おめでとうございます。

本日は加治木教会の、天地金乃神御大祭に併せて、布教七十五年記念大祭をお仕えさせていただくことができ、有り難いことに存じます。

金光教加治木教会は、最初大正十四年に甘木教会より平島只助先生がご布教され、道は根付きかけていましたが、昭和六年に奥様平島房代姫がお国替えになり、昭和十九年には平島只助先生も、ご無念にもお国替えされ、お志半ばにして布教が途絶え教会はいったん閉じられてしまいました。

そうして、空襲で家屋が消失して、いまだバラック建ての家屋の多い戦後の傷跡残る加治木の町に、昭和二十六年、甘木教会より矢野政美先生が、再び布教を開始されました。

平島只助先生が御用しておられた時の信者の方々に通知を出してもほとんど参拝はなく、月例祭のお供え物に困り、海岸で貝を掘り山でフキを採って子供え物にし、遂には食事にも事欠くことになりました。

政美先生は晩年「食うつ食わんつじゃなかったばい、食わんつ食わんつじゃったばい」と語っておられました。

そのため、布教三年目には、道が開けぬあまりの厳しさに、親教会の親先生（二代文雄親先生）に進退をお伺いまでされたことがあります。

そのときの、親教会の親先生の御取次とみ祈りとはもとより、母堂矢野クラ刀白のみ諭しは、

「あんたが商売か何かであれば、ここでは思うように行かないから、他の所に代わるということもよからうが、お道の御用というものはそんなものではないかろうと思う。あんたは甘木を出る時、加治木の土になしていただくという決心で行ったのではなかったのですか。その決心はどうしました。加治木で打って鳴らぬ太鼓は、どこで打っても鳴りません。それを鳴らそうと思えば、太鼓のバチが折れるまで、皮が破けるまで打たせていただければ、必ず鳴ります。あんたが一生かかって道が開けんでも良いではないね。あんたが死んだのち、後をついでくださる人が継ぎやすいようにしておけば、それで良いではないね」

と、泪ながらに励ましてくださったのです。

そのみ諭しを聞かせていただくうちに、翻然と御用に対する気持ちがちり替わり、加治木の地で道の教えを説き、専心人が助かる神様の御用に命を傾けようとの決心と覚悟が決まったのです。

その時を境に、道を求めて教会を探しては参拝し

て来る人が現れることとなり、「神も助かり氏子も立ち行く」道が伝わる御用ができて行くこととなりました。

そうして今日まで、加治木教会の御取次の御用が続けられてまいりましたことは、何と尊く有難いことであるか、神様の深い深いご神慮・ご慈悲・ご慈愛を感じずにはおれません。

＊

今日おかげを蒙らせていただいておりますことは、これひとえに親神様、教祖様のご神徳はもとより、歴代の金光様、歴代の甘木親教会親先生方、靈之神様となられた方々の、厚きお祈りとご教導、さらには皆様方のみ祈りの賜でございます。

そのことを厚く深く御礼申し上げますとともに、この布教七十五年記念大祭を新たな出発点として、さらに真の御用におかげを蒙らせていただいて行きたいと存じます。

記念祭に際し、いろいろと不行き届きな点をお詫び申し上げますとともに、今後ともお祈り添えご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教会長 矢野 章



平島房代美道別姫



平島只助嚴廼正明聡根彦



平成13年 矢野政美大人お国替え後に
奥津城を納骨堂に改修



昭和6年、平島房代姫お国替えの時に
奥津城が建立された

祭典次第

- 先、祭員着席
- 次、開帳行事
- 次、拝礼
- 次、神前拝詞奉唱
- 次、取次唱詞奉唱
- 次、祭主祭詞奏上
- 次、祭主玉串奉奠
- 次、天地書附奉体
- 次、甘木親教会
- 次、親奥様玉串奉奠
- 次、参拝者代表玉串奉奠
- 次、神徳賛詞奉唱
- 次、「神人の栄光」斉唱
- 次、拝礼
- 次、祭員退下



矢野サダ子真心白萩大刀白



矢野政美大人

『神人の栄光』
しんじん えいこう

一、天地は
あめつち

神のふところ
かみ
人はみな
かみ
神の愛し子
いとご
限りなき
かき
神徳のなかに
めぐみ
生かさるる
い
われ等うれしき
ら

二、人の世に
ひとよ

永久の光を
とわひかり
愛し子に
いとご
尽きぬみかげを
つ
誓わしし
ちか
教祖の神に
みおやかみ
救わるる
すく
われ等うれしき
ら

三、神とかみに
かみ

真をつくし
まこと
人の道
ひとみち
直く行い
なおおこな
世の業を
よわざ
励みはたらき
はげ
勇みたつ
いさ
われ等うれしき
ら

四、親神の
おやがみ

御威光を称へ
みいつ
生神の
いきがみ
教を仰ぎ
おしえ
神と人の
かみひと
栄ゆく道を
さかみち
守りつぐ
まも
われ等うれしき
ら



加治木教会少年少女会

バンド隊をめざす？合唱！

加治木少年少女会のバンド隊の練習は、コロナ禍前までは、練習に取り組み、鹿児島地方連合会で「ひっとバンド」を編成し、少年少女全国大会「かがやけ大行進」に参加させていただいておりましたが、現在はおやすみ中です。これからの成長を期待し、楽しみにしています。（※お直会で合唱。）



平成25年8月4日

さんぽ

あるこう あるこう わたしはげんき
あるくの だいすき どんどんいこう
さかみち トンネル くさっぱら
いっぽんばしに でこぼこじゃいみち
くものすくぐって くだいみち

あるこう あるこう わたしはげんき
あるくの だいすき どんどんいこう
みつばち ぶんぶん はなばたけ
ひなたにとかげ へびはひるね
ぼったがとんで まがいみち

あるこう あるこう わたしはげんき
あるくの だいすき どんどんいこう
きつねも たぬきも でておいで
たんけんしょう はやしのおくまで
ともだちたくさん うれしいな
ともだちたくさん うれしいな



「^{ちい}小さな^{せかい}世界」

せかいじゅう どこだって
わらいあり なみだあり
みんなそれぞれ たすけあう
ちいさなせかい

せかいには せまい
せかいには おなじ
せかいには まるい
ただひとつ

せかいじゅう だれだって
ほほえめば なかよしさ
みんなわになり てをつなごう
ちいさなせかい

せかいには せまい
せかいには おなじ
せかいには まるい
ただひとつ



平成25年8月4日



平成22年8月8日



平成22年8月8日

「^{うた}ちゃんむしの歌」

うんだもこら
いけなもんや
あたいげどん
ちゃんなんだ
ひにひにさんども
あるもんせば
きれいなもんごわんさ
ちゃんについた
むしじゃろかい
めごなどけあるく
むしじゃろかい
まこて げんねこっじゃ
わっはっはー

鹿児島弁（さつまことば）の歌です。
みなさん、意味がおわかりでしょうか？



歌詞の意味

まったくそれは
どんな物なのですか？
私の家の茶碗は
毎日、日に3回も洗っているため
清潔なものです

茶碗についた虫でしょうか？
洗い物かごを這う虫でしょうか？
まったく恥ずかしいことです
わっはっは



プログラム

11:00
ご 祭 典

11:50
立教神伝奉読・前 講
多良木教会長
梅木博光先生

12:15
ご 教 話
甘木親教会長
安武道義親先生

(※直 会)

食 前 訓

「食物はみな、人の命の為に天地乃神
の作り与え給うものぞ。」

「大酒大食するは絶食のもとになる
ぞ。」

「食物はわが心で毒にも薬にもなる
ものぞ。」



「何を食べるにも飲むにも、ありがたく

いただく心を忘れなよ。」
〔教典〕773～775頁
〔道教えの大纲・信心の心得〕

食 後 訓

「体の丈夫を願え。」

「体を作れ。何事も体がもとなり。」

〔教典〕775頁
〔信心の心得〕